

2021年11月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時
2021年11月06日(土) 10:00~17:00

2. 開催場所
Teamsを用いてのリモート(オンライン)

3. 会員参加者<敬称略>S:オンサイト出席・L:オンライン出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

大見	L	牧野	L	横尾	L	杉浦	L	城越	欠	合田	L	伊藤	L	舟山	L
出島	L	福田	L	水田	L	山中	L	小峰	L	山口(展)	L	黒田	L	鈴木	L
古谷	書	池田	L	三浦	L	岡本専務	L								
小西	休	中山	休	山口(直)	休	庄内	休	李	休	河合	休	則尾	休		

4. 研究会内容

1) 輪講: OFF時、ON時がある場合 (3) 第21章 (担当: 水田、サポート: 山口)

21.1: 流れに正と逆(負)がある場合の機能性
21.2: 動特性を用いる方法
21.3: 周波数特性を考慮する場合
Q&A

2) テーマ相談① 実例に基づく基本機能に関する検討: 発表者 牧野

機能について、過去事例を元に、紹介した。

3) 事務局連絡

- ・NASサーバーからどこでもキャビネットへ切り替え完了
- ・講演会招聘 永田先生(早稲田大学) 統計学の方から見た品質工学に絞ってお話いただく
- ・AIと品質工学を使用したツールをご紹介いただいた
- ・マツダ武重さんご報告いただく 来月以降の月例会で日程調整
- ・11/26(金) 品質工学技術戦略研究会発表大会
- ・QE解説 回帰、サポートベクタマシン等 福田さん講師予定
- ・シンポジウムと業務改善事例発表大会の振り返り
- ・12月の定例会もリモートで実施。12月の定例会で翌年からのオンサイト研究会を検討

4) 講演会 基本機能を考える 芝野先生

基本機能のおさらい
ハンドブック紹介(設計・開発・品質管理者のための基本機能ハンドブック)
7つの基本機能の概要と具体例についてご説明いただいた
基本機能の活用例
粒子径分布の改善技術
複合系材料の均一分散性と結着性評価
現像材帯電劣化メカニズムの解明
全体最適と部分最適(基本機能を定義する範囲)